

DPF

プライキャンバス®

不燃ターポリンシリーズ

「プライキャンバス®」は三菱ケミカル㈱の登録商標です

視認性に優れた不燃ターポリンG-1025CL
不燃ターポリンG-1025BT

新製品

「視認性」に優れた 高透光不燃ターポリン

プライキャンバス® G-1025CL

国土交通大臣認定の不燃材料 認定番号NM-4639



軟質塩ビシートの「柔軟性」を活かし、透光率の向上で「視認性に優れた不燃ターポリンシート」をラインナップしました。

例えばクリーンブースのパーティションに利用すれば、このシートを通してシルエットの視認ができるので、安全管理に寄与する事や、防煙垂れ壁用途では視界の妨げになり難くなる等の効果が期待できます。



【使用例】

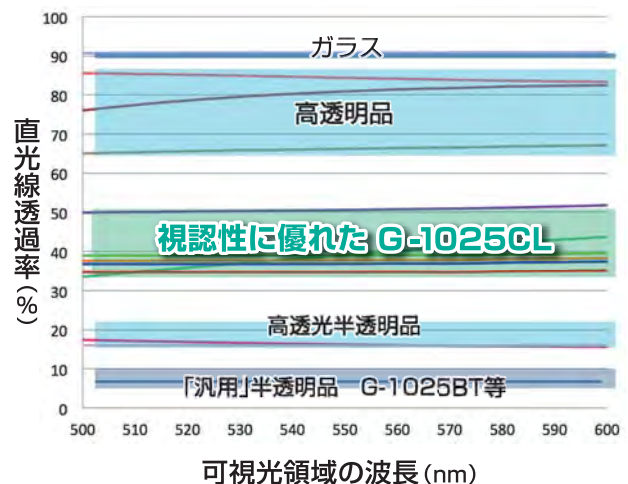
- 工場内の間仕切りパーティション
- 気流調整用カーテン
サーバールーム
クリーンルーム
- 防煙垂れ壁

その他、シルエットでもシート越しに内部・外部を可視化できるスペースを確保したい時にご活用ください

G-1025CL



視認性の位置づけ



燃ターポリンシリーズ

好評発売中

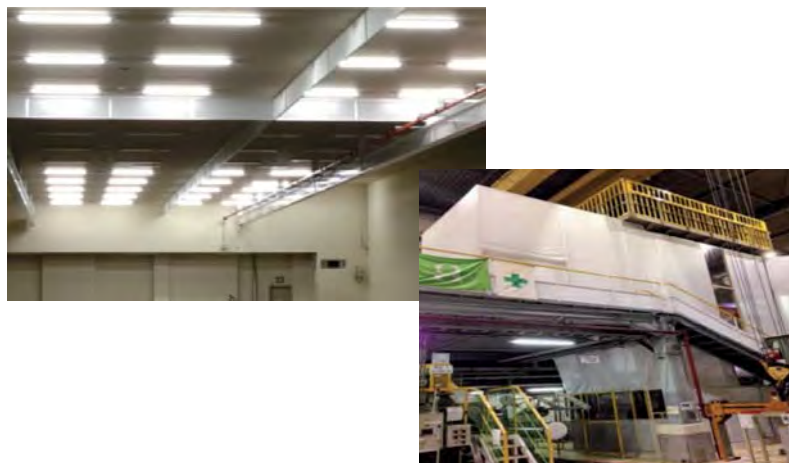
用途拡大中! 不燃ターポリン

プライキャンバス® G-1025BT

国土交通大臣認定の不燃材料 認定番号NM-4049-1



食品工場、自動車製造ライン、をはじめとして様々な工場のクリーンブースやパーティションへの採用が増えています。防煙垂れ壁用のシートでも事務所や工場への採用事例が拡大しています。カラーバリエーション対応も好評をいただいています。



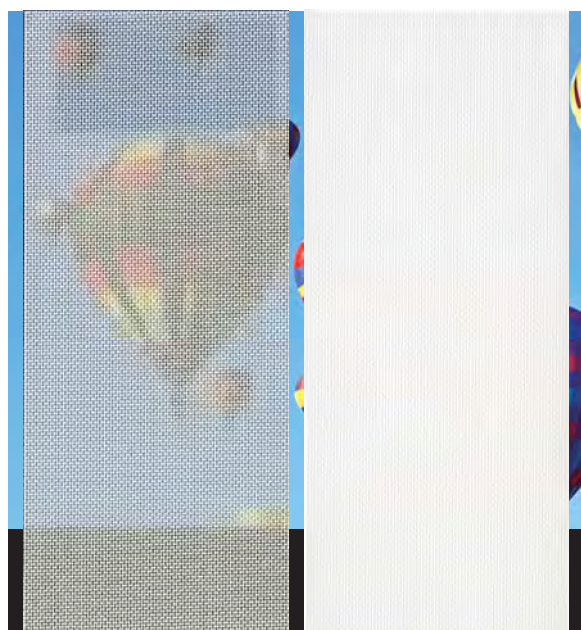
【使用例】

- 防煙垂れ壁
- 懸垂幕等のPOPメディア
- アコーディオンカーテン
- 工場内間仕切りパーティション
- 気流調整用カーテン
サーバールーム
クリーンルーム 等
- ロールスクリーン

G-1025BT

半透明

白



カラーバリエーション※



※カラーバリエーション対応は個別対応で申し受けますので、お問い合わせください

規格物性表

品番	厚さ (m/m)	幅 (cm)	巻数 (乱m)	重量 (g/m ²)	引張強度 (N/3cm)		伸率(%)		引裂強度(N)		直光線 透過率(%)	全光線 透過率(%)	耐寒性 (℃)	国土交通省 不燃材料 認定番号	消防庁 防災物品 登録番号
					たて	よこ	たて	よこ	たて	よこ					
G-1025BT	半透明	0.27	203	30	370	1070	1040	3	3	25	35	1	55	NM-4049-1	A1150156・B1150028・F27105
	白				400	1020	1010	3	3	40	30	—	—		-15
G-1025CL	透明	0.27	115	30	360	240	240	2	2	13	13	40	85	NM-4639	A1180003・F-30015
試験方法	ダイヤル ゲージ				JIS K-6772						分光光度計 可視光領域 DPF法	JIS-K- 7361-1	JIS-K6772 レザ耐寒性 試験		

(材質) 表層：PVC 基材：ガラスクロス

●物性値は当社測定値で保証値ではありません。

不燃材料の基準

不燃材料 (不燃性試験 建築基準法 第2条九号)	1. 発熱性試験	加熱開始後20分間の総発熱量、8MJ/m ² 以下で、裏面に貫通する亀裂のないこと、穴がないこと(ピンホールは、0.5ミリ未満) 最高発熱速度10秒以上継続して200kw/m ² を超えないこと。
	2. ガス有害性試験	加熱開始後 15分経過の間にマウスの行動停止時間が6.8分以上

※膜材料認定は取得していません。

G-1025CL用ラベル



G-1025BT用ラベル



⚠️お取り扱い上の注意

1. 原反ご使用時には、包装ラベルに記載されている品名・品番・ロットNO.を確認の上、記録しておいてください。
2. 熱溶着による接合加工時に臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
3. 高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こす事がありますので、ウエルダーバー及びシートの溶着部分に付着物の無い状態を確認してください。
4. 縫い込みロープ・ハトメ部分の縫製時には、必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
5. プリンター機種・インクにより印刷状態は異なります。事前に印刷を行い、条件をご確認のうえご使用ください。
6. 加工作業時、ガラス繊維が皮膚に付着して不快感が生じる事がありますので、長袖の着用・手袋の使用等防衛対策を行って作業をしてください。
7. 長時間保管する場合は、高温多湿を避け、気温の変化の少ない場所を選び、変形する様な積み重ね、立て掛けはしないでください。
8. 可塑剤を含んでおりますので、硬度が異なるPVCフィルムや他素材の樹脂と長期間接触すると、可塑剤が移動する場合があります。
9. 基布には吸水防止処置はしていません。
10. ご使用環境、条件(紫外線、雰囲気中の化学物質、オゾン等)の差により、変質、退色、劣化などが促進されることがあります。
11. 食品用器具・容器包装用途へのご使用は控えてください。
12. 波長 280~380nmにおけるUVカット率が95%以上の製品を対象に「UVカット」表示をしております。
13. 廃棄される場合は、廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可を受けた産廃処理業者に処理を委託してください。
14. 折り曲げにより、場合によっては白化する可能性があります。

※本カタログの記載内容は改善の為、予告なしに変更することがあります。

取扱店

DPF

製造・販売元 **ダイヤプラスフィルム株式会社**

- 本社 | 〒453-0862 名古屋市中村区岩塚町大池 2
名古屋事務所 | TEL.052-412-9908(代) FAX.052-412-9840
- 東京事務所 | 〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目5-15(住友生命東神田ビル 9F)
| TEL.03-6362-0609 FAX.03-6362-0610
- 大阪事務所 | 〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-12-3 (グローバルビル 3F)
| TEL.06-6535-0481 FAX.06-6535-0482
- 製造部 養老製造課 | 〒503-1337 岐阜県養老郡養老町直江640 - 1
養老事務所 | TEL.0584-32-3000(代) FAX.0584-34-0547
- 製造部 名古屋製造課 | 〒453-0862 名古屋市中村区岩塚町大池 2
| TEL.052-411-1269 FAX.052-412-9840
- 製造部 四日市製造課 | 〒510-0871 三重県四日市市川尻町1000番地
| TEL.059-345-7613 FAX.059-345-7642